

長濱からのメッセージ

代表取締役社長
長濱 好教

デジタルの力をビジネスのカへ ～ お客さまとともに 2017 ～

平素より皆さまにはたくさんのご愛顧を賜り心より御礼申し上げます。

今年も寒さと暖かさを繰り返しながら、公園の桜の木々の芽も春が近いことを告げております。この“そるねっとつうしん”がお手元に届くころには、新入社員の皆さまも加わり清々しい気持ちでお仕事に取り組まれていることと思います。

お蔭さまで、私どもは本年2月で創業50周年を迎えることができました。これまで支えて頂いたお客さまならびにビジネスパートナーの皆さまに深い感謝の気持ちを持ちながら、社員一同、新たなスタートへの緊張と喜びに包まれております。



さて昨年度は、中期計画の最終年度として“お客さまとともに新たな挑戦！G5”をスローガンに、「提案のスピードアップ」、「課題解決への新しい技術を駆使した新たなソリューションへの挑戦」そして「リソースダイナミックスによるスキルと業務の最適化によるプロジェクトの成功」にまい進致しました。全てが満足にいたるところまで到達しておりませんが、CS(お客さま満足度)ES(社員満足度)を含む経営目標は及第点を取ることができました。

この良い流れを受けて、今期スタートする新たな中期計画では、ITの大きな変革のうねりをとらえ、ソルネットらしさを持った新しいビジネスを成長させ、更にお客さまと地域に貢献を高めることを大きな目的として“持続的成長に向かって、スピードを上げてビジネス構造変革を実現する”を指針としました。お客さまのDX^(※1)の実現、ビジネス競争力向上の実現、そして地域の皆さまの生活活性化の実現を支えるソリューションをお届けしてまいります。

その初年度となる2017年度は、“デジタルの力をビジネスのカへ”をスローガンに、イノベーション事業部を新設します。あわせてリーダーに若手、女性を広く活用いたしました。全部門がお客さまと新しいビジネスへ取組むことに集中していけるよう、強いリーダーシップを発揮してくれると期待しております。また、既存のビジネスに加え、今後大きく需要の広がるビジネスを確実に実現できますよう、私どもも、ソルネット自身のDX^(※1)への第一歩を愚直に進めてまいります。本年も変わらないご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1) DX: デジタルトランスフォーメーション

NEW

イノベーション事業部から

製造展・IT Forumでお待ちしています！



開催日：6月21日(水)～23日(金)

会場：西日本総合展示場 新館

九州・山口地域の製造業全般の総合展「西日本製造技術イノベーション2017」に、ブース出展いたします。出展ソリューションは以下のとおりです。ぜひ、ブースにお越しください。お待ちしております。

HYBRID 製造1901

高品質・短納期
製造業の生産管理
システムテンプレート

HYBRID 調達

調達管理、在庫管理の
標準機能を網羅した
システムテンプレート

モバイル 設備点検

デジタルで点検品質を
グレードアップする
工場の保安全管理
ソリューション

HealthPartner 2020

ウェアラブルを活用した
月額500円からの
生活習慣改善
クラウドサービス

JB Group IT Forum2017

開催日/会場

- 大 阪：5/23(火) ホテル阪急インターナショナル
- 名古屋：5/31(水) ヒルトン名古屋
- 東 京：6/ 2(金) ザ・プリンス パークタワー東京

展 示： 実際に見て、触れて、展示会会場で最新IT活用をご確認ください
※弊社出展品目：モバイル設備点検、HealthPartner、作業体調管理(予定)

セッション： JBグループ・協賛各社によるセッション

基調講演： 手嶋 龍一 氏 (外交ジャーナリスト・作家)

【テーマ】

「激動の世紀をどう生き抜くか

～トランプ新政権と日米同盟～

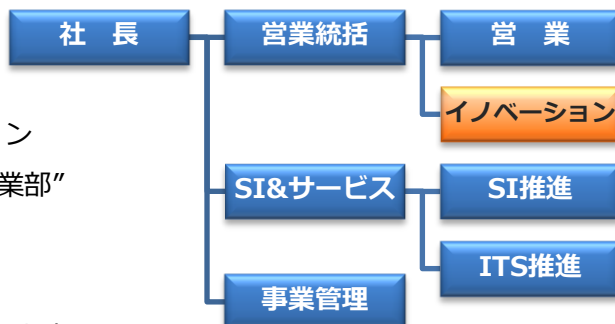
公式サイト：<http://www.jbgroup.jp/it17>

※ 申込み受付は、4月初旬を予定しています。

2017年度 新組織でスタートします！

2017年度の基本方針“持続的成長に向かって、スピードを上げてビジネス構造変革を実現する”のもと、SOLNET Valueソリューションの創出を加速させるために、“イノベーション事業部”を新設いたしました。

JBグループのソリューションも加え、お客さまの成功に貢献するITを提案してまいります。



躍進への第一歩に、、、 ～ マネジメント研修 ～



2月25日 マネジメント研修を実施しました。今回の目的は、50周年である2017年度を「さらに躍進する年」と位置づけ、スムーズなスタートダッシュが切れるよう、弊社の“次中期計画／2017年度の取組み”とJBグループの取組みについて、新マネジメントチームの認識を深め、意志統一を図ることです。当研修を通して、参加した総勢30名一人ひとりが、新たな自分のポジションも含め、十分理解できたことと感じます。

50周年がさらなる躍進への第一歩となるよう、新マネジメントチームが率先して活動し、お客さまに『SOLNET-Value』をお届けしてまいります。



年金セミナーを実施しました

弊社社員の中に、そろそろ年金について考える年齢に到達する者が出始めました。そこで、“年金制度のことを知っていて損はない。”ということで、八幡年金事務所さまのご協力を得て、年金セミナーを実施しました。

老若男女約70名が参加し、想定外の多さに社員の関心の高さが伺え、実施してよかったとの安堵感と同時に、より踏み込んだ内容のセミナーを次回開催しなければと考えています。この度、ご協力いただきました八幡年金事務所さま、本当にありがとうございました。

(事業管理)



春です！キラキラの新入社員です

4月3日。おかげさまをもちまして、今年も2名の新入社員を迎えることができました。SOLNET本社での入社式を終えたのち、JBグループ全体の入社式のため東京へと向かいます。翌日からは数日間の合宿研修をはじめ、職種別研修、OJTなどの各種カリキュラムが9月まで続きます。

社会人としての基本的なマナーを習得し、業務の進め方や、お客さまとのコミュニケーションの取り方などを学んで、一日でも早く現場の第一線で活躍してくれることを期待しています。



Q1. 学生時代で印象に残っていること
Q2. 休日の過ごし方
Q3. 私ってこんな人です！
Q4. これからの目標

中尾 裕子(なかお ゆうこ)

- A1. アルバイト先のコンビニでの、さまざまな年代の方との交流
- A2. 好きなアーティストのライブや、買い物に行ったり、お笑い芸人の動画をみて過ごしています
- A3. 負けず嫌いなところがあり、自分が納得いくまで妥協せず、物事に取組みます
- A4. 失敗を恐れず、色々なことに挑戦しながら、どんな仕事も一つ一つを確実にこなしていきたいです



五嶋 絢子 (ごとう あやこ)

- A1. 哲学ゼミで、“愛や存在”について教授と延々と語り合ったこと
- A2. 読書をしたり、猫（5匹）と遊びます。漫画が好きで、萩尾望都や大島弓子の作品にハマっています
- A3. やりたいと思ったことは、即実行するタイプなので、落ち着いて行動することを心がけています
- A4. 与えられた仕事を、責任を持って成し遂げるところからスタートしたいです。それと、朝型の社会人になりたいです



ボウリング大会

～ 社員会イベント～

今年入社した新人2名(当時、内定者)も含め、社員・パートナーさまあわせて約100名が集まり、ボウリング大会を実施しました。このボウリング大会は、参加者みんなが楽しめるようにと、軽食を準備したり、過去のスコアを参考に公平なハンディ設定をしたり、社員間の交流を深めるために部門をこえたチーム編成を行うなど、主催の社員会がさまざまな工夫をしてくれます。

普段話す機会のない社員同士も、ゲームが白熱すると、大きな歓声や笑い声をあげて、一緒に楽しんでいました。



進化するCS活動

毎年、年に一回コンテストを行う弊社のCS活動ですが、今回も各チームが優れた取組みで、熱い接戦となりました。

今年の最優秀賞に輝いたサービス推進部の『終わりなき提案プロセス改善』は、昨年度の取組みを継承しつつ、社内に散在するさまざまな情報を集約することで、お客さまによりよい提案を行うべく、更に進化したものでした。

こうした活動のひとつひとつを、メンバーで共有し、理解して、今後のお客さまサービスの品質向上につなげてまいります。

2016年度 ソルネットCS活動発表会

No.	部門	チーム名	テーマ	発表者
1	医療チーム	Team PPAP	お客様との関係を大切にするプロジェクト推進方法の施行	堤 修一
2	地理情報 SOL部	The Share Happy	営業・エンジニア連携による提案活動の1UP	田中 幸一
	サービス推進部	SVC同盟軍	『お客様の本来のニーズを見極めた提案の実施』 ～EPISODE II～	中村 一哉
	SI推進部 開発Gr	MISSION: Impossible	株守の標準化により、お客様の期待値を上回る	小迫 清
5	人事総務	バッチン いこう!	介護・育児離職者ゼロへの挑戦!	猪坂 匠 古原 千里

講評及び結果発表



各部門のCS活動テーマ



中央町も声援に包まれる！ 北九州マラソン 2017



八幡東区中央町のガード下で応援しました

すっかり北九州市の冬の風物詩となった“北九州マラソン”が今年も2月に行われました。弊社近くの中央町を通るコースは、スタート地点に近く、ゆるやかな下り坂になっているため、ランナーが一斉に猛スピードで駆け抜けて行きます。あまりの早さに、声掛けも撮影も追いつかないほどの勢いで、私たちも身体がほかほかとしてくるほど、応援にも熱が入ります。

今年も約1万人のランナーに対して、沿道から総勢25万人にもものぼる市民の応援があったとのこと、北九州市全体が、大きな声援でひとつになったようでした。

北九州市環境首都検定

成績優秀賞

いただきました



今年も社員・家族・協力会社あわせて総勢約60名で環境首都検定にチャレンジし、「成績優秀賞」をいただくことができました。5年連続の優秀賞、メンバー一同本当に喜んでおります。ありがとうございました！

1 Day インターンシップ始動！

CSR活動の一環として、これまで5日間のインターンシップを実施してまいりました。

しかしながら、近年参加いただいた学生さんから“5日間は少し長すぎる”、“1 Dayの方が多くの企業を体験できる”といった声をいただきました。

そこで、情報システム業界のことを少しでも

スケジュール	内容
10:00 ～ 10:10	オープニング（自己紹介ほか）
10:10 ～ 11:00	I T業界説明及び、弊社紹介
11:10 ～ 12:00	WBS演習 & 発表
12:00 ～ 13:30	昼食懇談（社員交流）
13:45 ～ 16:45	ワークショップ 1) ビジュアルプログラミングツール紹介 2) ビジュアルプログラミングツール開発体験 ・お客さまへの提案検討 ・製作（設計、プログラミング、テスト） ・発表 & 振り返り
16:45 ～ 17:00	クロージング



理解いただき、この業界のファンになってもらえるように、短期間のカリキュラムへと再編をしました。

今回が1年目ということで、広報や準備不足もありましたが、計2回、5名に参加いただきました。

インターンシップでの体験が、少しでも学生さんのお役に立てれば幸いです。

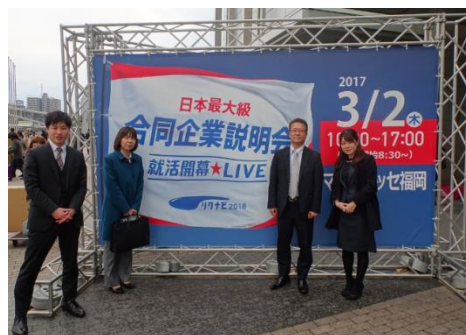


企業と学生の出会い ～合同企業説明会～

採用広報解禁に合わせて3月2日、マリンメッセ福岡で開催された合同企業説明会に初めて参加しました。近年、“学生さんの売手市場”といわれる中でも、毎年数名の採用をしてきましたが、毎回、人事メンバーが一丸となって、“どうしたら学生さんに弊社の業務内容を理解して頂き、ファンになってもらえるのか？”と検討を重ねています。

初めてのこの説明会も、レビューを重ねて臨んだ結果、80名以上の方がブースに立ち寄っていただきました。その中には、インターンシップに参加いただいた方もいらっしゃって、とてもうれしかったです。

この中から、我社に来年入社いただける方がおられ、自身がファンとしてだけでなく、今後、一緒にファン獲得にまい進していただける方がいることを期待しております。



（事業管理）

お知らせ) ホームページにも掲載を始めました!!

ソルネットの開発を支える取組み (フレームワーク編)



前回に引き続きソルネットの開発力というテーマで、今回は開発基盤、特に Webシステムの開発フレームワーク (以下FW)についてご説明させていただきます。

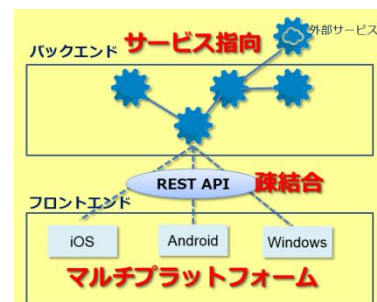
■設計思想

開発FWはプログラムを作成する際の雛形であり、一般的に生産性、品質及び保守性の向上を目的としています。弊社のFWでは、それに加えて「柔軟性」を重要視しており、仕様の変化やユーザーインターフェース、使用するデバイスの変化など様々な場面で対応できるよう設計しています。

■特徴

①フロントエンドとバックエンドの分離

フロントエンド(画面)とバックエンド(ビジネスロジック)を完全に分離しており、その通信には現在広く普及している“REST”を採用しています。これにより、フロントエンドの自由度が高まり、使用するデバイスやプログラムの開発言語には、様々なものが選択可能になります。



②サービス指向

プログラム内部の処理だけでなく、データベースアクセス、FTP通信、メール送信等の各種リソースアクセスもサービスと捉え、外部システムが提供するサービスも含めて、全て標準化された手順で利用します。これらを組合せて使用することで、柔軟且つ効率的にシステムを構築することができます。

③マルチプラットフォーム対応

PCブラウザ用のプログラムにモバイルアプリで多く用いられる「シングル・ページ・アプリケーション」という方式を採用しています。これにより設計を変更することなく、“Android”や“iOS”のネイティブアプリケーションとして移植することが可能です。

④業界標準への準拠

フロントエンドは“AngularJS”、バックエンドは“Spring”といった業界で広く使用されているFWをベースとしています。また、その他の仕様についても可能な限り標準に準拠することで、陳腐化することなく、新技術等の変化にも対応しやすいFWを実現しています。

これからは定型的な処理だけではなく、IoTやコグニティブ等を利用した独自性の高いシステムが必要となります。そのような場合でも品質や保守性を保つためには、FWは不可欠です。お客さまの要求にスピーディ且つ柔軟にお応えするシステム開発を目指し、弊社のFWは進化を続けます。

※ 商品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です

(イノベーション事業部 園田 慎二)



新しい景色を お客さまとともに

最近、IoTのご提案をさせていただくことが増えています。センサーなどの新製品や、興味深い事例など、さまざまな情報をメンバーで共有していると、「これは、〇〇さまにお伝えすると喜ばれそう」「〇〇さまがちょうどこんなことできないかとの前おっしゃっていた」という声が飛び交います。お客さまがどういうことに関心をお持ちなのか、メンバーはよく知っています。



弊社のSEや営業は、お客さまとの長いお付き合いの中で、現在進行形の開発案件や保守対応などにおけるお困りごと、業務課題などはもちろん、これまでに携わられた案件や、お客さまの得意なこと、今後やってみたいテーマなど、さまざまなことについて、お話を聞かせていただいています。

お客さまとたくさんお話をさせていただくことは、お客さまの「過去」「現在」を知ることであり、判断基準や価値観を共有させていただくことにつながります。こうした土台があってこそ、その延長線上で、お客さまの「未来」を一緒に見つめられるようになるのです。

お客さまとともに走りながら、お客さまの「現在」の課題を解決し、力強くご支援させていただくメンバー、その一歩先を走りながら、お客さまの「未来」が実現できるよう、真に役立つものを見つけてご提案するメンバー、みんなが一体となって、お客さまの「現在」と「未来」をしっかりとつなげ、これまで見たことのない新しい景色を、いつかお客さまとともに笑顔で見られるように、これからも日々努力を続けてまいります。

(Y.Nishino)

編集後記

社のCS活動発表会。エントリーした5チームの発表を、約90名が熱心に聞きました。開催後アンケートの感想に「自部門でも応用できそうな活動でした」とあり、私はとても嬉しくなりました。

それは、発表を聞いたメンバーの中に、活動品質の向上につながる“気づき”が生まれ、CS活動が広がっていくのを実感したからです。今後もCS活動の社内浸透に取り組んでまいります。

(K.K)

